

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第27号 平成27年11月7日

九死を救ったジローの今期初安打

最終回に息絶え、4年ぶりの敗戦！

	1	2	3	4	5	6	7		R
P	0	0	0	0	0	0	2		2
G	0	0	0	0	0	0	0		0



久しぶりとなった、PIOLAXとの対抗戦を4年ぶりに清水ヶ丘公園野球場で行った。このカードではほぼ指名先発となる政司がマウンドに上がりプレイボール。その入りはストライク目つタイミングを外し二飛で一死で幕開けした。続く打者には、右前に運ばれ出塁を許すも、3番を投併打に斬り、上々の発進を見せた。そのPIOLAXは、エースの畠中がマウンドに上がる。先頭の英は、6球粘ったが、三ゴロで一死、二番秀は見逃三で二死、三番深沢は死球で出塁するも、四番哲也が空三振でチェンジとなった。2回には、四球と安打で出塁を許すも、それ以上は許さず0封。同じく我がチームも四球で出塁するも、打線が続かず。3回、4回と共に、一人ずつ走者を出すも、要所を抑え、抑えられ未だ0点行進。結果翌5回にマウンドを降りたが、上々の出来でマウンドを深沢に任せた。その深沢だが、一死後、次打者を三失で出塁させる。そして、今度は5FCとし、更には、次打者に四球を与え、一死満塁のピンチを迎えた。ここで、守備陣は前進守備にシフトする。次打者への初球を振り抜くと打球は、先程まで好投していたセカンド政司の横に。これを逆シングルで捕球しホームに送球し二死満塁。そして後続を三ゴロに斬り、このピンチをチームで乗り切った。その裏6回の攻撃、この回先頭の秀が野手の失策で出塁が、野手のぼんやり感を見逃さず二塁に進塁を試みたが、これを相手守備陣が反応し、残念ながらRPで一死となった。続く深沢も相手守備の乱れで出塁する。が、後続二打者が続けず得点出せず。そして、回は最終回に。この回先頭に中前に運ばれ、次打者には四球を与え、無死一・二塁。しかし、後続を遊飛、投飛で斬り二死一・二塁としたが、先頭打者の時にPBで共に進塁を許す。そして、ここまで抑えてきたが、3球目を振り抜かれた打球は一二塁の間を抜ける打球、この打球に二走者が生還し、重い重い2点を失点した。そして、最終回の攻撃。あっさり二死とされたが、ここから波乱が起きた。今日チーム唯一の安打を放ったジローが四球を選択し出塁。そして9番打者の打球はイージーな捕飛。しかし、これを何と落球、これにつられたかのように、次打者の打球も野手が落球。最後に二死満塁の大チャンスが訪れたが、ツキはここまで、一飛に打ち取られゲームセットになった。

今日を振り返ると、相手投手対チーム丸の守備という感じであった。守りから一つのチャンスで勝機をうかがったが、それを上回る畠中の出来が、それを許さなかった。あっぱれですね。奪三振11奪三振、被安打1ではやはりホームは遠い。何とかしたい、するにも今日は相手投手の出来が良かったという内容でした。

その後、急遽2戦目を行ったが、これはこれで、相手の気持ちを理解する事が出来たゲームでは無かったか！と思う内容でした。